

診療局：内科《総合内科・感染症内科》

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長 兼院内感染対策室長兼産業医	倭 正也
膠原病内科部長 兼リウマチセンター長	入交 重雄
医 長	三島 伸介
医 長	木下 真孝
副医長	葛城 有希子
副医長	藤岡 研
非常勤医員	関 雅之

総合内科・感染症内科

—概要—

現在の医療は高度の専門化が進んでいる一方で、様々な病気を併せ持つ患者さんに対して「全人的医療」を行うことのできる医師が少なくなっている。そこで当院では2013年4月より総合内科・感染症内科を新たに立ち上げ、診断のついていない症状ではじめて当院を受診され、どの専門科を受診すればよいかわかりにくい患者さんに対して、専門分野を横断的に診療する幅広い総合診療を行っている。さらにその際に感染症および膠原病の診療を行う機会も多く、これも当科にて診療を行っている。

具体的には、一般内科疾患全般(内科救急疾患を含む)をはじめ原因不明の持続する発熱(不明熱)、関節痛などといった症状を持たれた患者さんの外来、入院診療を行っている。またその際に、高度な専門医療を要する場合には適切な各専門科に紹介させていただいている。さらに、当科以外の各専門科において入院治療を要する患者さんに対しても、専門科と良好なコミュニケーションを保ち、多角的に相互補完するバランスのとれたチーム医療を実践し、患者さんの全身管理のサポートを行っている。

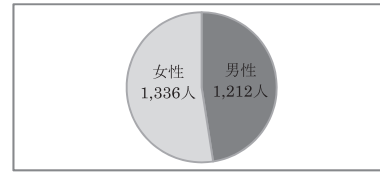
また、輸入感染症の診療も当科の重要な任務の1つである。特に当院は、厚生労働大臣指定の我が国で4か所の特定感染症指定医療機関の1つであり、西日本では唯一である。当科にて感染症センターに入院された患者さんの診療を行っている。

2013年4月、りんくう総合医療センターと泉州救命救急センターがひとつの病院として統合した。救命救急センターとの相互連携を深め、救急医療を含む総合診療と高度な専門医療とが多角的に相互補完する、これからの地域医療を支える新たな診療体系の構築を目標に、総合診療の強化を目指している。

—実績—

◆外来初診患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	103	123	107	117	118	97	91	88	86	83	104	95	1,212
女性	108	113	120	113	133	125	113	98	106	92	113	102	1,336
合計	211	236	227	230	251	222	204	186	192	175	217	197	2,548



◆入院患者数

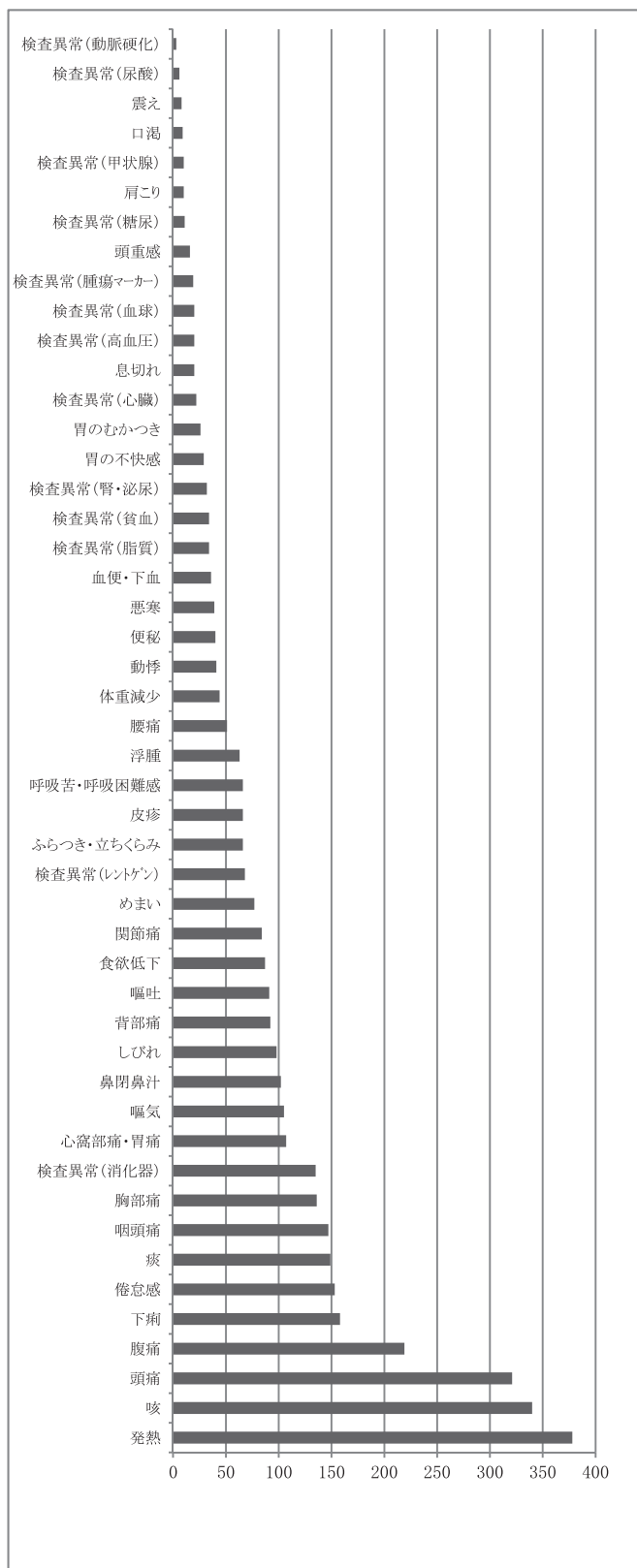
新入院患者数													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
22	13	18	18	13	15	24	15	11	13	16	12	190	

延べ入院患者数													
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
442	381	399	441	365	237	426	414	203	271	386	314	4,279	

初診時主訴数一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
発熱	38	49	32	34	36	20	22	23	18	26	50	30	378
咳	32	32	24	25	29	25	26	23	28	25	34	37	340
頭痛	36	37	28	35	34	24	15	21	14	18	31	28	321
腹痛	31	22	21	24	24	13	18	19	11	10	12	14	219
下痢		21	19	18	9	12	13	8	17	11	5	12	158
倦怠感	15	11	13	13	21	10	10	7	12	9	20	12	153
痰	18	16	12	16	14	12	7	6	9	12	13	14	149
咽頭痛	18	13	10	13	12	9	4	11	8	12	18	19	147
胸部痛	13	15	17	14	11	10	10	9	5	13	10	9	136
検査異常(消化器)	10	11	8	15	13	12	18	15	10	7	8	8	135
心窩部痛・胃痛	8	6	15	6	5	12	11	7	12	5	15	5	107
嘔気	15	19	9	11	15	6	4	8	6	4	4	4	105
鼻閉鼻汁	11	11	6	5	7	5	5	12	5	12	11	12	102
しびれ	13	8	14	12	11	8	6	6	7	5	4	4	98
背部痛	10	8	8	5	7	13	7	7	9	9	5	4	92
嘔吐	11	12	6	9	7	7	6	7	5	4	10	7	91
食欲低下	10	16	11	9	5	8	4	3	6	6	4	5	87
関節痛	3	7	2	9	7	10	6	5	2	7	14	12	84
めまい	5	12	7	4	7	6	6	5	6	7	3	9	77
検査異常(レントゲン)	0	5	5	5	13	5	6	7	5	6	5	6	68
ふらつき・立ちくらみ	7	9	5	5	9	7	7	6	4	2	3	2	66
皮疹	9	6	9	9	2	4	7	2	7	6	4	1	66
呼吸苦・呼吸困難感	10	8	4	9	5	4	6	3	3	7	4	3	66
浮腫	9	6	6	9	8	6	3	4	1	1	5	5	63
腰痛	5	11	3	6	5	3	6	2	0	3	3	4	51
体重減少	10	2	7	3	5	5	6	1	2	2	0	1	44
動悸	4	2	4	1	6	4	5	5	3	4	2	1	41
便秘	6	4	8	2	2	5	6	2	0	2	2	1	40
悪寒	4	7	3	2	5	1	1	2	1	2	6	5	39
血便・下血	3	6	4	1	5	4	0	2	3	3	5	0	36
検査異常(脂質)	2	2	4	3	2	2	8	4	2	0	2	3	34
検査異常(貧血)	4	5	4	3	2	2	4	1	2	1	4	2	34
検査異常(腎・泌尿)	4	1	5	1	1	2	4	4	3	2	4	1	32
胃の不快感	2	4	9	1	0	1	3	2	4	2	0	1	29
胃のむかつき	7	4	1	0	0	3	3	3	1	2	2	0	26
検査異常(心臓)	2	1	5	3	4	1	2	2	1	1	0	0	22
息切れ	5	3	2	1	3	1	1	2	1	0	1	0	20
検査異常(高血圧)	2	1	1	0	0	3	2	2	2	4	2	1	20
検査異常(血球)	1	1	1	4	2	2	4	1	1	1	1	1	20
検査異常(腫瘍マーカー)	0	2	4	0	2	2	0	2	3	1	2	1	19
頭重感	2	2	2	4	1	2	1	1	0	1	0	0	16
検査異常(糖尿)	2	0	2	1	2	1	0	2	1	0	0	0	11
肩こり	4	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	10
検査異常(甲状腺)	1	0	1	0	0	5	0	0	0	2	0	1	10
口渇	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	9
震え	0	2	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	8
検査異常(尿酸)	0	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	1	6
検査異常(動脈硬化)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3

初診時主訴数一覧



—今年度の成果と反省点—

他診療科からの特に感染症診療についてのコンサルト件数の増加が認められた。当科医師はICT(Infection Control Team)活動を担っており、その活動については院内感染対策室の項に記載した。さらに、ICU/CCU入室の重症患者については、全症例について当科共観とさせていただき、主科の医師と協議し抗菌薬などの治療について検討した。

本年は学術論文について、今年度中の出版に間に合わず、来年度に持ち越しとなった点が特に反省点として残る。

—来年度への抱負—

引き続き、地域からご紹介などの診断困難症例、不明熱、重症感染症患者の治療に尽力していきたい。また、他診療科とのさらなるコミュニケーションを図り、感染症診療においては適切な抗菌薬使用に努めたい。さらに、講演、学会発表、学術論文の作成など研究活動に一層力を入れていきたい。